

平成22年度 さいたま市PTA協議会がスタート

渡辺会長から磯田新会長へバトンタッチ



Q&A?

新会長に聞く!

磯田 和 男

Q 平成22年度 市P協の方針や活動目標を教えてください。

A 平成22年度総会で承認されましたように、基本方針・活動目標を以下のようにしました。

【基本方針】

「子どもたちの笑顔溢れる環境づくり・地域づくり・未来づくり」を目指し、その活動を推進する。

【活動目標】

- 教育環境の改善及び充実を推進するため、諸機関・関係団体と連携する。
- 事業を通し、多くの会員の参画を図る。
- PTA活動に関する情報を広報紙・ホームページ等を活用し、啓発に努める。
- 各区連合会との情報交換を密にし、その活動支援に努める。

Q 市P協って、どんなところですか?

A 会員は約9万名。役員は、各区連合会より3名と校長会より2名で構成され、10区の情報を持ち寄り協力しながら活動しています。事業のひとつ「館岩少年自然の家視察研修」では、子どもたちと同じ体験をしながら、側溝清掃など施設の環境整備を行っています。子どもたちの笑顔を思い浮かべながら行っている事業の中でも、参加者の力がフルに発揮される代表的な取り組みとなっています。他にも情報交換や研修など様々な事業があり、多くの皆様と一緒に「子どもたちの笑顔溢れる未来」を考えていきます。

Q 磯田新会長より、会員の皆さんへメッセージをどうぞ!

A 今年度、会長を務めさせていただきます、声の大きい磯田です。区連会長、理事を通して聞こえてくる会員の皆様の声が反映される、開かれた市P協を目指します。ご理解とご協力をよろしくお願い致します。



市P協 総会



定期総会

六月二十六日、さいたま市長清水勇人氏を迎え、平成二十二年度市P協総会が、さいたま市文化センター(南区)で開催された。

総会には、市内の小中学校合わせて百二十一校のPTA会長と校長会の代表が参加。二十一年度の事業報告に続き、新役員承認などが行われ、渡辺紀子会長から磯田和男新会長に引き継がれた。総会を終えスタートした二十二年度の新体制。今年度は、市P協創設十周年という節目の年でもあることか

市長からのエール

22年度の新出発、誠にありがとうございます。家庭・学校・地域を結ぶPTA活動は、子どもたちの夢を叶える重要な活動と痛感しています。これからも更に、子どもたちのよりよい環境作りのための活動に期待しています。



さいたま市長 清水勇人

ら、参加者たちはこれまでの実績に加えて、さらにPTA活動を発展させようという気運で盛り上がった。

事業計画

- 5月 広報紙づくり講習会
- 6月 定期総会・懇談会
- 7月 役員セミナー  
教育委員会懇話会  
広報紙「市P協 さいたま」発行
- 8月 館岩少年自然の家視察研修  
日本PTA全国研究大会・  
関東ブロック研究大会 ちば大会
- 9月 指定都市PTA情報交換会札幌市大会
- 10月 教育委員会交流会
- 11月 市P協10周年記念式典・祝賀会  
役員研修人権講演会
- 1月 教育委員会懇話会
- 3月 広報紙「市P協 さいたま」発行
- 4月 広報紙コンクール

役員紹介

1年間宜しくお願いします!



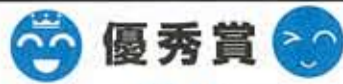
山 磯 鷗 高  
田 田 沢 島  
祐 和 勇 清  
司 男

事 業	常任理事	副会 会 長
小石荒井新笠中井荒船澤保望高鷗山磯 山田井坂井井山原井木登坂月島沢田田 哲幸清 森健博光 ま直和秀 祐和 司弘司 夫太貴郎 こ子夫志 司男 (T)		

監 事	広報・情報
久川高山小森松相坂高根老畠手森武 田瀬野崎林 山澤本松岸川山塚谷藤 敏幸充直俊克秀甲正 千桃健行敏 行男晴太郎彦行次毅 稔 夏子一雄男 (T)	



# 広報紙はPTA活動活性化のパロメーター



## 小学校の部

高砂小学校PTA	「たかさこ」
大久保東小学校PTA	「たけやき」
中島小学校PTA	「な・か・じ・まPTA」
仲本小学校PTA	「なかもと」
原山小学校PTA	「とわ」
仲町小学校PTA	「むつみ」

## 中学校の部

土合中学校PTA	「つどい」
原山中学校PTA	「はらやま」
与野西中学校PTA	「西中PTA」
大久保中学校PTA	「大久保」

四月三日、市民会館おみやで、広報紙コンクールが開催された。市内小学校(百二校)から七十七校、中学校(五十八校)からは四十校の応募があり、各区連から選ばれた小中PTA会長のほか、市教育委員会や校長会の代表者により審査が行われた。

午前中の二次審査。二十五名の審査員は、小学校・中学校のグループに分かれ、五つの審査基準に従って、一項目五点の二十五点満点で採点をしていく。言葉少なな作品のページをたぐっていく審査員。その真剣な眼差しからは、作品を評価する審査の難しさがうかがわれ、と見て取れた。二時間近くに及ぶ二次審査の結果、小学校三十作品・中学校二十作品が二次審査へ。

午後の二次審査も、審査員はグループに分かれ、作品を順次交換しながら



5人ずつ小学校3グループ・中学校2グループに分かれて審査

### これが五つの審査基準だ!

- 1 興味をひくタイトル、写真や絵を含め見やすい記事の構成になっているか。
- 2 PTA活動に役立つ記事が盛り込まれているか。学校行事はPTA活動ではない。
- 3 PTAとして自治会やスポ少、公民館など地域社会と親密な連携がみられるか。
- 4 携帯電話、しつけ、生活習慣など教育課題への取組みがみられるか。
- 5 特集記事など積極的な企画性、アイデアがみられるか。

採点を行っていった。一度記入した点数を書き改める審査員。一点の違いに神経を使っているのがよく分かる。

厳正な審査の末、入選作品として選ばれたのは小学校十五校・中学校十校。過去五年間で入選経験のない学校が半数を占め、全体的なレベルアップを感じさせる結果となった。

印象に残ったのは、「広報紙のデザインや表現も大切ですが、内容の豊かさは各校のPTA活動の充実が欠かせません。コンクールが各校のPTA活動の活性化に繋がっていくでしょう」という、コンクール関係者の言葉。

優秀賞の十作品は、日本PTA全国協議会のコンクールに出品される。



受賞作品

## 新しい仲間 北区

### つばさを探して さいたま市立つばさ小学校

線路を渡り新しいまち並みを歩いていると、そこに突然学校が現れた。学校の名前を見て初めて学校だとわかる外観、オフィスビルにも見える。「つばさ小学校に突撃訪問です」

最初に目に入ったのが、大きなモニター。ソーラーパネル発電量や、雨水を溜めトイレの水に使う水道量が、グラフに出ていた。エコの最先端に驚きと戸惑いを感じた。

近範子校長が、「新しいけど木の温もりのある温かい学校です。家族とのふれあいなど大切にしていきたい」と、学校を案内してくれた。屋上は緑化でとてもきれいな花々が咲いている。「手入れが大変です」と、近校長は笑っていた。廊下は広くトイレもホテル並、オムツ替えシートまで装備されている。畔川PTA会長は、「PTAとして前例がないのが悩みです。ただ白い画用紙にいろんな色を描ける楽しみもある」と、笑顔で語ってくれた。

学校、保護者、地域の「つばさ」で子どもたちを守っているのを感じた。〈取材担当〉



緑化された屋上とソーラーパネル



講習はワークショップで

### 広報紙づくり講習会

～魅力的な紙面づくりを学びました～

5月22日、コルソホール(浦和区)で、市P協主催の「広報紙づくり講習会」が開催された。講師は日本教育新聞社編集局報道部長の矢吹正徳氏。この講習会は広報紙作りの基礎を学ぶため、小中学校PTAの広報担当役員を対象に毎年開催されている。今年も参加者が300人を超える大規模な講習会となった。

講師はまず、長年広報紙の審査に携わってきた自身の経験をふまえて、「PTA活動の活発さに比例して、広報紙も充実する傾向がある」「統一テーマを掲げるなど、紙面企画がしっかりしていると魅力がアップする」など、意義深いアドバイスをした。

次に、実際の広報紙や新聞記事の実例を素材として、紙面作り・レイアウト・見出しつけの課題が参加者に与えられ、討議発表などの実践的な講習が行われた。

参加者は、初めて広報紙作りに携わる人が大半ということもあり、真剣に課題に取り組んでいた。講習会終了後、「広報紙づくりって奥が深いんですね」などと語りながら、大勢の参加者が、参考展示されていた市P協広報紙コンクールの入選作品に興味深く見入っていた。



「参考にしたい」と語る参加者たち

詳しくはホームページ

さいたま市PTA

検索

さいたま市内の国立・市立小中高・養護学校へ通っている児童・生徒の皆さんの事故を24時間幅広く補償します!

## さいたま市PTA協議会 「児童・生徒ワイド補償制度」加入受付中!

(団体傷害総合保険)

毎年、多くの方々に新規ご加入いただき、現在では約13,800名の生徒の皆様にご加入いただいております

### 補償制度の特長

1. 一般加入と比べて37%割引のお得な保険料
2. 学校管理下・管理外を問わず「24時間補償」
3. 傷害補償は、入院・通院とも「1日目から補償」
4. さらに入院は「1000日まで補償」
5. 加入児童・生徒の扶養者に万一のことがあった場合の「育英費用補償」
6. 加入児童・生徒がストーカー犯罪やひき逃げ事故に遭われた場合の「被害事故補償」

※本広告は制度の概要のみを記載したものです。ご契約に際してはパンフレットをご参照ください。

当制度のお問い合わせ先・パンフレット請求先

さいたま市PTA協議会「児童・生徒ワイド補償制度」係  
(事務局)さいたま市大宮区大門町3-1 大宮区役所東館1F  
取扱代理店:(有)池田保険事務所  
〒336-0932 さいたま市緑区中尾1424  
【お問い合わせ先】 TEL:048(875)9133 FAX:048(810)1502

### 引受保険会社(株)損害保険ジャパン(幹事会社)

埼玉支店さいたま支社  
さいたま市大宮区桜木町4-82-1 TEL 048(648)6063  
AIU保険会社 東京海上日動火災保険(株) SJ09-07689 2010年1月26日作成